

令和4年度逢瀬川事業説明会質問回答

番号	質問（令和4年8月29日）	回答
1	現在、県で整備している逢瀬橋から幕ノ内橋付近まで堤防が高くなるが、整備をしていない旧4号：逢瀬橋から下流については高さが低くなるのではないか。	逢瀬橋より下流の区間及び逢瀬橋より上流の区間はともに同規模の洪水量に対応した計画となっており、逢瀬橋より下流の区間は整備済みです。
2	旧荒井郡山線の工事はいつ完了し通行可能になるのか。	年内の規制解除（通行可能）を予定しています。
3	咲田橋を通行止めにした際、赤木小学校前交差点の交通量が増えることが想定される。当該箇所は子供を含めた歩行者が多いので、歩車分離など、信号制御を考えてほしい。	状況に応じて所轄の警察と相談しながら対応していきたいと考えています。 なお、咲田橋の通行止については、事前の案内を広報等で早めに周知する予定です。
4	今回は県の工事のみの説明会であったが、今後は流域治水が必要となってくることから、昨年11月13日に開催した、国・県・市が合同で実施した説明会を今年も実施してほしい。	要望があったことを国、市に伝えます。
5	撤去された幕ノ内橋について、仮橋は設置する予定はないのか。	仮橋の設置予定はありません。 当初は、旧幕ノ内橋を残したまま、新しい幕ノ内橋を設置する予定でしたが、一昨年の地震で被災し、通行が困難になったため、撤去せざるを得なくなりました。
番号	質問（令和4年9月2日）	回答
6	咲田橋通行止めについて、大窪橋を工事で通行止めにした際、かなり混雑したが、対応について、伺いたい。	状況に応じて所轄の警察と相談しながら対応していきたいと考えています。 なお、咲田橋の通行止については、事前の案内を広報等で早めに周知します。
7	7に関連して、咲田橋の一日の交通量は調査しているのか。	咲田橋近辺の交通量調査を実施し咲田橋を通行止めにした際に各路線の交通量がどの位増えるかなど検討しています。
番号	質問（令和4年9月9日）	回答
8	撤去された幕ノ内橋について、仮橋は設置する予定はないのか。	仮橋の設置予定はありません。 当初は、旧幕ノ内橋を残したまま、新しい幕ノ内橋を設置する予定でしたが、一昨年の地震で被災し、通行が困難になったため、撤去せざるを得なくなりました。
9	咲田橋と東部幹線の道路幅が狭く、すれ違いが困難である。	今までの道路幅と同じ幅で整備しています。
10	郡山市で工事を行っている東部幹線はいつ頃完成するのか。	東部幹線は郡山市で工事を進めており、県の方では回答できません。
11	阿武隈川の堤防よりも逢瀬川の堤防高さが高くなると聞いたが、どのくらい高くなるのか伺いたい。	旧4号から下流は阿武隈川の計画高さに合わせておりますが、旧4号から上流に向け徐々に計画高さは上がります。

12	逢瀬川の水が阿武隈川に吸収されないであふれてしまうことは無いという認識でいいのか。	R 元年の台風 19 号の時と同じ現象が起きた場合は、今進めている逢瀬川の河川改修ができあがった時は堤防を越えることは無いということは確認しています。 逢瀬川は 100 年に 1 回の確率で来る大雨に対応するハード対策を実施している。そのほか、「避難して自ら命を守りましょう」というソフト対策も皆様をお願いしております。堤防が完成したから大丈夫と思わず、市からのエリアメールなどを参考に避難行動も併せてお願いいたします。
番号	質問 (令和 4 年 9 月 26 日)	回答
13	今回、県単独で開催する理由を教えてください。	前回説明会開催時で「県の河川改修工事の内容をもっと詳しく聞きたかった」などのご意見をいただいております、県の河川改修工事についてご理解を深めていただくため、県単独の説明会としました。
14	昨年 11 月 13 日に開催した、国・県・市が合同で実施した説明会を今年も実施してほしい。	要望があったことを国、市に伝えます。
15	今回の説明会の議事録を作って、公表してください。	今回、地区を分けて説明会開催させていただいています。各説明会でいただいたご質問及び回答内容について、取りまとめの上公表する予定です。(本書のとおりです。)
16	説明資料に記載ある樋門の表示について、今までの説明会等では無かった。なぜ今回から表記されているのか。	今までは台風 19 号の越水被害を受けまして護岸、堤防がどのタイミングでできるのかという点をメインに説明していました。前回の説明会の中で各樋門に対してのご質問などいただいていたことから、明示しました。
17	台風 19 号のようなものが来たときに今回の工事で防げるのか。	今回改修工事をしているのは、R 元年の台風 19 号を受けての改修ではなく、S61.8.5 水害の時の規模に対応できるように整備する計画となっています。 また、R 元年の台風 19 号の時と同じ現象が起きた場合は、今進めている逢瀬川の河川改修ができあがった時は堤防を越えることは無いということは確認しています。
18	計画雨量について、時間雨量か日雨量のどちらで算出されているのか。	基本的に日雨量で算出しております。今回の計画雨量は 100 年に 1 回の確率で整備をしており、日雨量 167.7 ミリで算出しています。

19	昨年も質問したが1号樋門及び2号樋門の直径について、元々60センチくらいのものがかなり大きくなっている。なぜか。	現在、樋門を新設する場合は内空を1メートル以上とする事となっています。
20	昨年度樋門工事を実施しているとき、工事案内看板に表記がなかったのはなぜか。	河川改修工事の中の一つの工種として実施していますので、樋門に特化した工事案内看板は制作していません。
21	前回説明会の事業工程表資料では「用地交渉・詳細設計」の表記があったが、なぜ今回省略されているのか。	今回は工事状況について、ご理解を深めていただくため、その記載は省略しています。
22	咲田橋の仮歩道橋について、昨年度完了しているが、なぜ渡れないのか。	現在、今の咲田橋に添架されているNTT管及び東北電力管を仮歩道橋に移設している工事を実施してもらっています。その工事が終わりしだい、今の橋を壊せますので、今の仮歩道橋が渡れることとなります。 また、咲田橋架け替え工事は令和8年度で完了する予定でございます。仮歩道橋を通すと言うことは、車両が咲田橋を通れなくなってしまいます。なるべく、車両が通れない期間を短くしたいと考えています。
23	説明資料に各断面を切り取った資料がある。川幅、高さ、断面積などの値を表記してほしい。	ご意見を踏まえ、よりわかりやすい資料を作成したいと思います。